

石川県南加賀圏域

顔の見える関係づくりと退院支援の強化

南加賀圏域では精神障害者の在宅での生活を支援するため、各地域ごとの精神科病院と訪問看護、介護・福祉サービス事業所等との連携体制を構築し、入院初期から退院に向けた調整や退院後の訪問支援の強化に取り組んでいます。

1 南加賀圏域の基礎情報

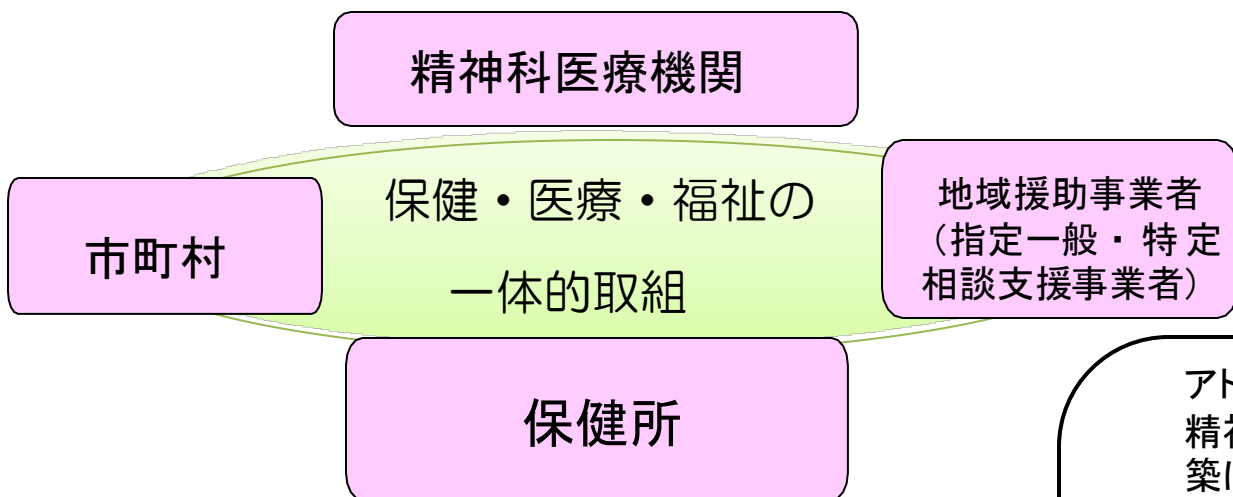
基本情報

市町村数（H28年6月末）	4市町村		
人口（H28年7月1日現在）	228,782人		
精神科病院の数（H28年6月末）	5病院		
精神科病床数（H28年6月末）	612床		
入院精神障害者数 （H28年6月末）	3か月未満：117人（17.0%）		
	3か月以上1年未満：124人（18.0%）		
	1年以上：447人（65.0%）		
	うち65歳未満	160人	
	うち65歳以上	287人	
退院率（H28年6月末）	入院後3か月時点：50.9%		
	入院後6か月時点：75.5%		
	入院後1年時点：81.1%		
相談支援事業所数（H29年2月末）	基幹相談支援センター：0		
	一般相談事業所数：14		
	特定相談事業所数：16		
障害福祉サービスの利用状況 （H29年2月）	地域移行支援サービス：3人		
	地域定着支援サービス：1人		
（自立支援）協議会の開催頻度（H 年）	回／年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	障害保健福祉圏域	有	1カ所
	市町村	無	0カ所

※H29年2月時点

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築



バックアップ

国（アドバイザー組織）

広域アドバイザー

都道府県等密着アドバイザー

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築事業

事業内容

- (1) 地域体制コーディネーターの配置
長期入院者に地域移行の働きかけや 支援者の助言を行う
- (2) 地域生活支援連携会議
関係機関の連携強化、支援体制の検討等
- (3) ピアサポートの養成、配置

アドバイザー役割

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にかかる事業に実施に取り組む地域に対し、担当者と連携し、関係者等の研修及び個別相談等の技術的支援を行う。

① 広域アドバイザー

- ・国が選任
- ・県担当者、県密着アドバイザーに具体的にアドバイス

② 都道府県密着アドバイザー

- ・県の推薦を受け、国が選任
- ・行政、医療、福祉分野から1名程度
- ・実践するなかで抱える課題等に対する相談、支援を行う

3 評価指標の設定状況

【〇〇県全体】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32

【〇〇圏域】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32

【設定理由（根拠）】

•

4 事業の進捗状況 ※平成29年9月末時点

・H29.8.29 県密着アドバイザーとの連絡会を開催。

(H29.11.6に以下の内容で連絡会を開催予定。)

担当:南加賀圏域の県密着アドバイザー

主:岩尾 貴(社会福祉法人朋友会)

副:坂上 章(県立高松病院)

対象者:

管内精神科医療機関担当者、管内相談支援事業所相談支援専門員、
管内市町障害福祉担当者、金沢保護観察所、

内容

(1)講義

石川県における精神障害者の地域移行支援の状況

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について

(2)事例検討会

各病院と地域支援者(市町、相談支援専門員等)が一緒に取り組んだ
事例を各市町で1事例ずつ検討

(3)意見交換

長期入院者の退院促進について

ピアサポートの養成について

5 現時点での課題・悩み

- ・入院中の患者の高齢化があり、退院への意欲や地域で生活するイメージを持ちにくい現状がある。家族側も、高齢であったり患者本人への対応困難を感じ、このままの入院継続を希望し、地域移行へつなぎにくい現状がある。
- ・医療機関からの連絡調整、相談支援事業所とのタイムリーなつながりがむずかしい。相談支援専門員のマンパワー不足、地域での社会資源（訪問看護等の訪問型サービスや福祉サービス、グループホーム等）の不足がある。
- ・対象患者が高齢者の場合、精神症状の理解や病状悪化に気づける介護支援専門員、ヘルパー等の介護事業所職員の、精神疾患への理解や対応の資質向上をはかることが求められる。
- ・精神科病院側は“長期入院患者を退院させる力”を、地域支援者側は“受け入れる力”を高めていくことが必要。そのための連携をどのように築いていくか。
- ・ピアサポーターの登録者を増やし、実際の活動や交流の場をどのように開拓し広げていくか。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた 平成29年度の実践スケジュール

平成29年度の目標

1. 「地域連絡会」での取り組みを通し、当圏域における、病院から地域移行への実践事例を実現する(各市より1事例ずつを目標に)
2. ピアサポーターの登録者を増やし、実際の活動や交流の場を開拓する。

時期(月)	実施内容	担当
H29年7月24日	地域生活支援事業担当者連絡会開催 ・地域包括ケアシステムの構築支援事業等(国の動向)について説明 ・圏域ごとの地域生活支援事業について説明	県障害保健福祉課
H29年8月29日	県密着アドバイザーとの連絡会	県障害保健福祉課
H29年9月12日	地域連絡会における県密着アドバイザーとの企画・打合せ	南加賀保健所
H29年11月6日	地域連絡会を開催(第1回) ケース検討により、地域移行への取り組み実践を進める	南加賀保健所
H30年2月	地域連絡会を開催(第2回) 取り組み状況の実践結果を報告 これまでの取り組みを整理し課題を共有	南加賀保健所